

地域建設委員会 視察報告

本委員会は、五月十九日から二十一日にかけて、四市の行政視察を行った。

小松市では、JR小松駅の西地区及び東地区合わせて二十・二haの面積が再開発、整備されていた。鉄道を高架化したため、踏み切り事故もなくなり高架下は無償にて市民に貸し出されるなど有効活用がなされていた。

白山市では、JR松任駅前地区七・七haが土地区画整理されていた。JRの連続立体交差事業は費用対効果面から断念され、駅と交差する主要幹線道路はアンドンパスが計画されていた。



JR小松駅周辺の整備事業を視察

坂戸市では、ごみ減量を進める中で軽減された、ごみ収集、焼却費用の一部を基金の財源として緑の保全、創造事業に還元されていた。また「環境学習館いずみ」を活用し、市民や小中学校における環境教育の充実が図られていた。

戸田市では、フェルト(古着のリサイクル)を利用して市庁舎屋上緑化がなされていた。フェルトの中に堆肥を混入させ、芝を養生させる手法で、仕切り枠もペットボトルのキャップから作られていたのが印象だった。



屋上緑化フェルトガーデン戸田

市民厚生委員会 視察報告

五月二十日と二十二日、三カ所の視察を行った。

一日目は、山形県天童市の「発達障害に関する臨床心理相談事業について」を視察。子どもと家庭を取り巻く現状の変化に対応し、関係機関と連携して総合的に子育て支援をし、専門委員が発達障害巡回相談事業や医・官・学による生活リズムづくりのモデル事業を行っている。専門職の必要性を実感させられた。

二日目は、宮城県仙台市の「ランド健康福祉センター」の研究開発施設及びこれに併設して



仙台フィンランド健康福祉センター

いるフィンランド方式の特別養護老人ホーム「せんだんの館」の視察を行った。基本理念・プロジェクトの特徴・サポート体制の説明などを聞き、これから迎える高齢化社会に対し、健康福祉産業振興プロジェクトの必要性を学ばせていただいた。

三日目は、東京都日野市の高齢者見守り支援ネットワーク事業の視察を行い、高齢者福祉での見守りは、行政の役割より地域の役割に重点を置いて施策していくべきであることに改めて気づかせていただいた。

三カ所とも大変有意義な視察であった。



日野市高齢者見守り支援ネットワーク事業

編集後記

残暑厳しい折、市民の皆様にはいかがお過ごしでしょうか。早いもので「議会だより」を担当させて頂き、二年目を迎える事になりました。市民の皆様に見やすい、わかりやすい紙面をと、全委員で取り組んできたつもりです。議会の内容が分かって頂いているでしょうか。分からない事、聞きたい事や知りたい事など、ご遠慮なく委員会までご連絡ください。

今後も内容の充実を図り、市民の皆様のための「議会だより」を目指し取り組んでまいります。

(靖男)

議会報編集特別委員会
委員長 坂本 靖男
副委員長 近藤 幸恵
委員 長能 文代
委員 與國 洋

